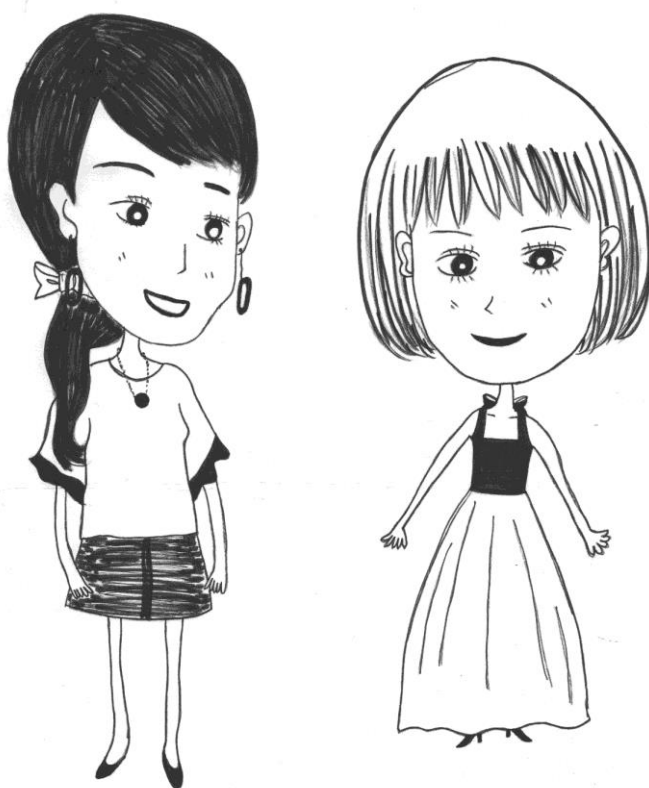


自信がなくても自分らしくできる

ピアノ講師1年生のための はんなり流☆ ピアノの教え方

第7章 レッスン7カ月目～1年



スカラー

■教材の目的

この章ではレッスン7カ月目～1年の指導内容に絞って作りました。

7カ月以降のレッスンについても、今までのレッスンと同様に基本的なベースは持っておいて、あとは生徒の様子を見ながら進めていくと良いと思います。

この章の最大のポイントは、**両手でピアノを弾くことです（両手奏と言います）。**

これまでは片手でピアノを弾いたり、両手とはいえ1つのメロディーを左右交互に弾くだけでしたが、ここでの**「両手で弾く」とは、右手がメロディーで左手が伴奏型のものを言います。**

で、この両手奏、実は教えるのが結構難しいのです・・・(;^ω^)。その辺りの教え方を**p8**でお伝えしていますので、しっかり読んでもらえたらと思います。

両手奏はピアノを学習する上での最初の関門です。両手でスラスラ弾ける感覚をつかんでもらい、ピアノがイヤにならず続けてもらえるようにしたいものです。

それでは順番に見ていきましょう！

■目次

■レッスン7カ月目～1年間のスケジュールはこちら	4
■ピアノの弾き方指導実践（7カ月目～1年）	5
オルガンピアノの本①	5
ピアノひけるよ！ジュニア②	12
バーナムピアノテクニック導入書	16
■へ音記号の低い「ドレミファソ」の教え方	20
必要な道具	
実際の進め方	
■5才のリズムとソルフェージュについて	22
■おわりに	23

■ レッスン7カ月目～1年間のスケジュールはこちら

前回第6章「レッスン2カ月目～半年の内容」はわかっていただけただけでしょうか？

次は最後の章であるレッスン7カ月目～1年の内容に入っていきますよ(^-^)

基本のレッスン

項目	時間
①ピアノを弾く（テキスト3冊）	25分
②リズム&ソルフェージュ	10分

使う教材



■ピアノの弾き方指導実践（7カ月目～1年）

まず「プリマーA」から「オルガンピアノの本①」に移っていき、「ピアノひけるよ！ジュニア」は2巻へ進み、「バーナム」は導入書へと進んでいきます。

計3冊のテキストから各1曲ずつを宿題に出してやってきてもらいます（※バーナムの本は1ページずつ出す）。

オルガンピアノの本①

「オルガンピアノの本①」



この本の最大のポイントは、両手でピアノを弾くことです（両手奏と言います）。単に1つのメロディーを左右で弾き分けるのではなく、**右手がメロディーで左手が伴奏**のものを弾いていきます。この両手奏がムリなく弾けるかどうか、最初の第一関門なので、きっちり押さえないとところです。

実際の進め方

最初の数ページは（プリマーAのレベルと一緒にのため）飛ばして、p14「ちらちらこゆき」から始めます。

右「ドレミファ」、左「ドシラソ」の練習です。

The image shows a page from a music book. At the top left, the title 'ちらちらこゆき' is written, with '詞・曲：ヤマハ' below it. To the right is a colorful illustration of a snowy winter scene with houses and a snowman. Below the title is a keyboard diagram with circled notes and a small musical staff. The main part of the page is a musical score in 4/4 time, with lyrics 'ちらちら ちらちら こなゆき ふるよ' written below the notes. Fingerings are indicated by numbers 1-4.

●子どもへの説明の仕方

・「新しい本になったね。引き続き①音の名前を言いながら弾く②リズムを言いながら弾く③歌いながら弾く、の順番で弾こうね」と言います。

※この辺りから、音の名前を言いながら弾くのを面倒くさがる子が出てくるのですが、ソルフェージュを兼ねた練習にもなっているので、ピアノを始めて1年間は続けてほしいです。

p31「たいこ」では、強弱を学んでいきます。

たいこ
詞：ヤマハ 曲：ハイドン

☆たいこをたたくまねをしながら、うたいましょう。

f フォルテ ……つよく
p ピアノ ……よわく

1 4 2

4 2

●子どもへの説明の仕方

・「*f*はフォルテといって、大きい音で弾くという意味ね。*p*はピアノっていったって、小さい音で弾くって意味だよ」と言います。

※まずは先生が強弱をオーバーにつけて弾いてあげましょう。子どもはマネをするのが得意なので、上手に弾くことができますよ♪

●両手奏の教え方

p36「ピアノのおけいこ」から、いよいよ両手奏（右手がメロディーで、左手は伴奏を弾く弾き方）に移ります。「オルガンピアノの本」で一番教え方が難しいなあと思うところです。

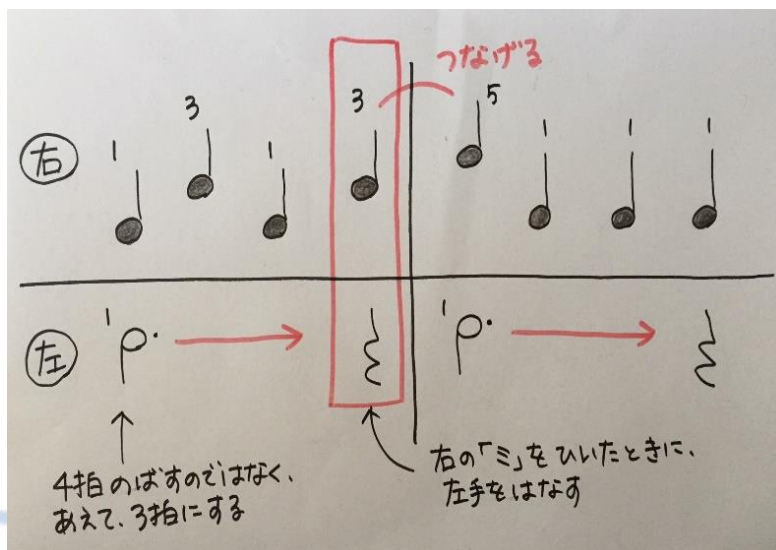


【ポイント】

この曲の最大の課題は、「**右手がスラー（つなげる）、左手は切る**」という弾き方です。

ほとんどの子が、**両手で弾いたときに（左手につられて）右手のメロディーがぷつぷつ切れてしまいます**。スカラーは教え初めの頃、どうやって教えたか右手がぷつぷつ切れないのかあれこれ試したのですが、ようやくこの方法で落ち着きました。

下記の図のように、**左手の音の最後にお休み**を入れます。



●子どもへの説明の仕方

・「右手のメロディーは切れないようにね。右手の4音目「ミ」の音を弾いたときに、左手をはなしてみよう」と言います。

※子どもによっては「手をはなす」という言い方より、「指をはなす」「手を上げる」という言い方が分かりやすいかもしれません

このテクニックは、慣れるまでにとっても時間がかかるのですが、左の4拍目をお休みにすることで、かなり弾きやすくなります(^-^)

*** 合格の基準 ***

他の曲はおまけで合格をすることもあります(^-^;)、この曲に関しては、「右手がスラー、左手は切る」ができるまでは合格させません。弾き始めて3週間ほどで合格できるような目安でやってみてください。

p39「そよかぜ」から左手の低い「ドレミファソ」が出てきます。

そよかぜ
詞・曲：高橋正夫

ふてん2ぶ(ん)おんぶ……3ばくのばす
スラー……おとをつなげてなめらかに

さわやかに
3 5 4 3
そよかぜ
1

2 3 2
はなの かおり さわやか
1

●子どもへの説明の仕方

・「へ音記号の低い「ド」が出てきたね。これからたくさん出てくるから覚えていこうね」と言います。

(この曲はリズムが少しややこしいので、)

・「まずは弾く前にリズム打ちをしてみよう。で、リズム打ちができれば弾こうね」と言います。

※このタイミングで、音楽ノートに低い「ドレミファソ」を書いて覚えてもらいましょう

p42 「たんぼのなかのいっけんや」から、ファのポジションに移ります。

ファのポジションっていうのは、(ドの音から始まる曲じゃなくて) ファの音から始める曲ということです。

たんぼのなかのいっけんや
調：高田三九三 アメリカ民謡

ふあ のポジション

2ぶ(ん)きゅうふ……2はくやすみ

げんきに
たんぼのなかのいっけんや
おろくしょうや

たんぼのなかのいっけんや

●子どもへの説明の仕方

・「今まではドの音から始まっていたけど、この曲はファの音から始まるんだよ。右手はファに1番の指を置いて、左手はドに1番の指を置いて弾こうね」と言います。

p48「ドナルドおじさん」が终れば、ピアノを始めて1年ぐらいが経っているころです。

The image shows two pages of a music book. The left page is titled 'ドナルドおじさん' (Donald Duck) and includes the lyrics '1. ドナルドおじさん' and '2. はたけの1のゆびを「ふる」にじゅんじゅん」。 The right page continues the score with lyrics '1. ビヨ ビヨ ビヨ' and '2. モク モク モク'. The score is written for piano in 4/4 time, featuring a simple melody and accompaniment. There are illustrations of a farmer and a field with chickens.

この曲は左右がト音記号になっていて楽譜としては少々見にくいのですが、両手の1の指をファに置いて弾けばすんなり弾くことができます。少しテンポを上げて弾いてもらいましょう。

「オルガンピアノの本①」が終わる目安は7カ月ぐらいです。1巻が終ればそのまま2巻へ移ってください。

では、次は「ひけるよ！ジュニア②」の教え方に移ります。

「ピアノひけるよ！ジュニア②」

「ピアノひけるよ！ジュニア②」



2巻目の最大のポイントは、こちらも両手奏が出てくることです。

右手と左手を同じ方向に動かしたり、右手がメロディーで左手が伴奏型という曲も出てきたりします。それでも難易度は他のどのテキストよりも易しいと思います。

実際の進め方

p22。ここで初めて同じ音を一緒に弾いていきます。左手は右手と違って動きが鈍いので、左手のだけの練習をたくさんしてもらいましょう。



22

▶みぎと ひだりてを いっしょに ひきましょう。

Illustration: A large blue flower with a piano keyboard on its stem, surrounded by smaller flowers and musical notes. The page contains a musical score for a 4/4 piece, with the right hand playing a melody and the left hand playing a simple accompaniment.

●子どもへの説明の仕方

・「両手で同じ音を弾いていくよ。右も左も同じ方向に動かしていこうね」と言います。

※両手が弾きにくい場合は、右手だけ、左手だけと片手で練習をしてもらってから、両手で合わせてもらいましょう。

で、p24「かっこう (1)」で、左手だけの練習をしてから・・・、



24

かっこう (1) 大浦正美作詞 トイツ目録

Illustration: A stylized tree with two blue birds perched on its branches. The page contains a musical score for a 3/4 piece, with the right hand playing a melody and the left hand playing a simple accompaniment. The lyrics are: 1. かっ こう 2. かっ こう どよ こん なつ を や よか ぶな もた りの の さわ や な た に の ほ ら ほ ら ひび

p26 「かっこう (2)」 で、両手で弾いてもらいます。

ぶっちゃけ、かっこう (1) を飛ばして、(2) に進んでも良いのですが、(1) を飛ばすと左手だけの練習をしてこない子がいるので、私は (1) でしっかり左手だけの練習をしてもらってから、仕上げのつもりで (2) をやってもらっています。

26

かっこう (2) ドイツ民謡



[伴奏]



(ばんそうと あわせるときは、2オクターブ たかいけんばんを ひきましょう)



p30 「ちょうちょう (1)」 も、かっこう (2) と同様で、両手とも同じ音を弾いていきます。

30

ちょうちょう (1) 野村眞足作詞 スペイン民謡

- ▶ おとと おとをつなげて なめらかに ひくことを、レガートといいます。
- ▶ スラー — の ついているところは、レガートに ひきましょう。



[伴奏]



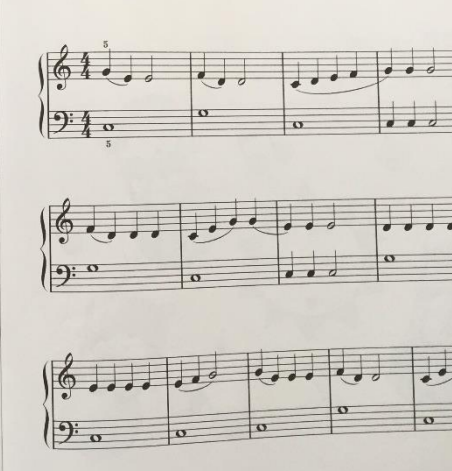
(ばんそうと あわせるときは、2オクターブ たかく)



ちょうちょう ちょうちょう なのはにとまれ
あいたら さくらにとまれ さくら
はなからはなへ とまれよ あそべ あそ

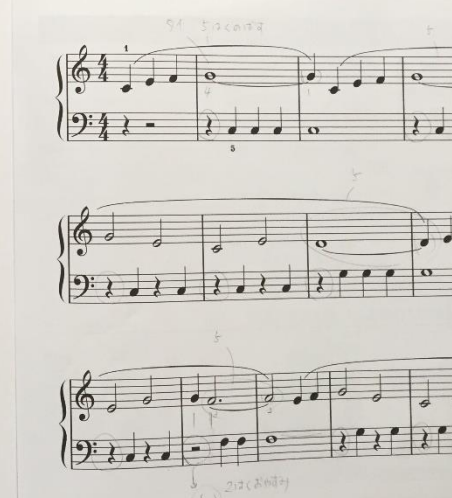
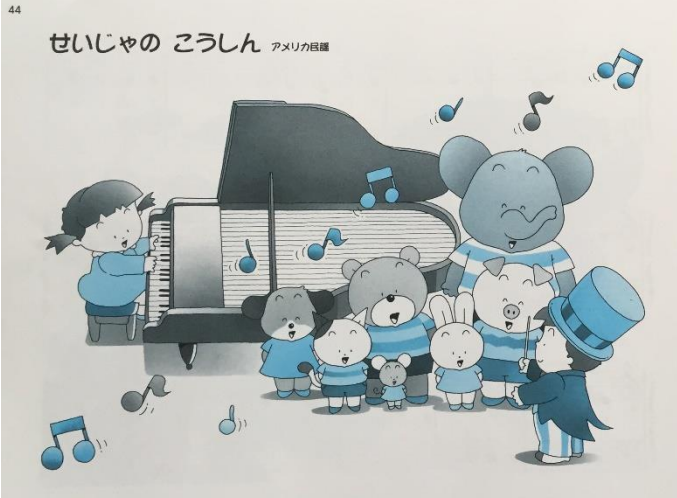
で、それができたら p38「ちょうちょう(2)」で、右手がメロディー&左手伴奏型を弾きます。

38
ちょうちょう(2) スペイン民謡



p44「せいじゃのこうしん」が終ればこの本は終了です！

44
せいじゃの こうしん アメリカ民謡



「ひけるよ！ジュニア②」が終わる目安は半年ぐらいです。2巻が終わったら次はレパトリーAに進みましょう(3巻が少し難しくなるので、間にレパトリーAを入れる方がスムーズに進めるのでおすすめです)。

では、次は「バーナム導入書」を見ていきましょう！

「バーナムピアノテクニック導入書」

この本は最初のページから、両手で弾くようになっています。

とは言っても、右手がメロディーで、左手が伴奏ではなく、**右手も左手も同じ方向に指を動かす練習**をしていきます。



これは余談なのですが、大人の初心者の生徒さんで、すでに音符の読み方がわかっている方はこの本から始めます。

実際の進め方

この本は最初のページから両手で弾くようになっていきます。p6「歩こう」です。

6

グループ 1
1 歩こう

一音一音つぶをそろえて
むらなくひきましょう。

The image shows a page from a music book. At the top left is the page number '6'. The title is 'グループ 1' (Group 1) and '1 歩こう' (1 Step by Step). There is a small illustration of a girl walking. A text box contains the instruction: '一音一音つぶをそろえてむらなくひきましょう。' (Play each note evenly, one by one, without gaps or unevenness). Below this is a musical score for piano in 4/4 time, consisting of two systems of two staves each. The first system starts with a first finger (1) on the treble clef and a fifth finger (5) on the bass clef. The melody is simple and rhythmic.

p10「さかだちの練習」では、音階（スケール）の練習になっています。初めて親指をくぐらせるという、「指かえ」のテクニックになります。

10

11 さかだちの練習

手首は、親指をくぐらすとき
動かさないようにしましょう。

The image shows a page from a music book. At the top left is the page number '10'. The title is '11 さかだちの練習' (11 Sakadachi no Renshu). There is a small illustration of a hand with the thumb tucked under. A text box contains the instruction: '手首は、親指をくぐらすとき動かさないようにしましょう。' (Do not move the wrist when the thumb goes under). Below this is a musical score for piano in 4/4 time, consisting of two systems of two staves each. The score is a scale exercise. The first system has fingerings 1 2 3 1 2 3 with a first finger (1) on the treble clef and a third finger (3) on the bass clef. The second system has fingerings 1 2 3 1 2 3 with a first finger (1) on the treble clef and a fourth finger (4) on the bass clef. The third system has fingerings 1 2 3 1 2 3 4 5 with a first finger (1) on the treble clef and a fifth finger (5) on the bass clef. The melody is simple and rhythmic.

●子どもへの説明の仕方

・「ファの音で親指をグッと手の内側に入れるんだよ。そのときに手首は動かさないよ。指だけの力で弾こうね」と言います。

p16「なわとび」は2段目の8分音符を早く弾かないといけないので、結構難しいです・・・(;^ω^)

5 なわとび

The image shows a musical score for a piece titled 'なわとび' (Jump Rope). It consists of two systems of music. The first system has a treble clef and a 4/4 time signature. The right hand plays a melody of quarter notes, and the left hand plays a bass line of quarter notes. There are fingerings (1, 2, 3) and a '3' above the first measure. The second system has a treble clef and a 4/4 time signature. The right hand plays a melody of eighth notes, and the left hand plays a bass line of eighth notes. There are fingerings (1, 2, 3) and a '3' above the first measure. A drawing of a person jumping rope is in the top right. The text 'テンポ注意' (Tempo Attention) is written above the second system.

●子どもへの説明の仕方

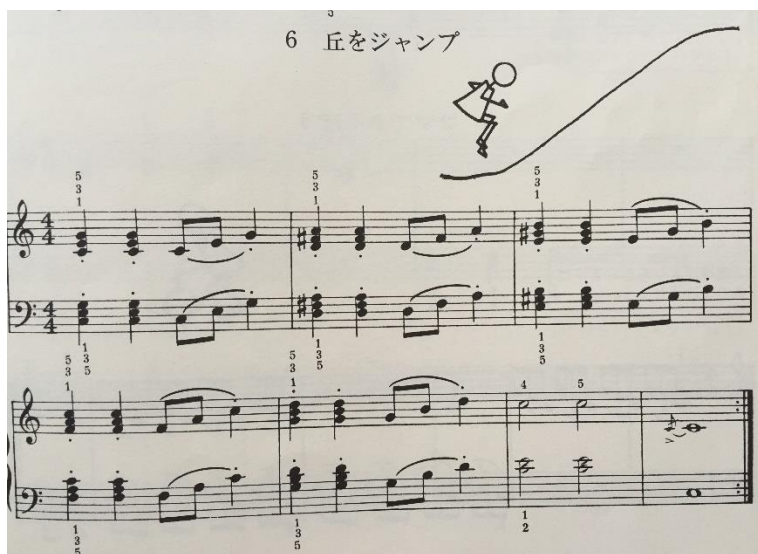
・「上の段はゆっくり、下の段は8分音符だから速く弾こうね。テンポに気をつけて弾いてみよう！手首には力を入れないで指だけの力で弾こうね」と言います。

p21「晴れの日とくもりの日の側転運動」は、晴れ＝長調、くもり＝短調 の違いを理解して弾いてもらいましょう。

4 晴れの日とくもりの日の側転運動

The image shows a musical score for a piece titled '晴れの日とくもりの日の側転運動' (Side Roll Exercise on a Sunny Day and a Cloudy Day). It consists of two systems of music. The first system has a treble clef and a 4/4 time signature. The right hand plays a melody of quarter notes, and the left hand plays a bass line of quarter notes. There are fingerings (1, 2) and a '3' above the first measure. The second system has a treble clef and a 4/4 time signature. The right hand plays a melody of quarter notes, and the left hand plays a bass line of quarter notes. There are fingerings (1, 2) and a '3' above the first measure. A drawing of a person doing a side roll is in the top left. A drawing of a sun is in the top center. A drawing of a cloud with rain is in the top right. The text 'はれ' (Sunny) and 'くもり' (Cloudy) are written below the first and second systems respectively.

後半になってくると、いろんな調で弾く課題があり調性の練習にとっても良いですよ（でも難しいので弾き込みが必要です）！ p29「丘をジャンプ」



●子どもへの説明の仕方

・「この曲はドの部屋、レの部屋、ミの部屋、ファの部屋、ソの部屋の5つの部屋になっているんだよ。シャープに気をつけて順番に弾いていこうね」と言います。

「バーナム導入書」が終わる目安は、たいだい10カ月ぐらいです。導入書が終われば1巻へ進んでください。

これで、ピアノの弾き方の解説を終わります。

次は、へ音記号の低い「ドレミファソ」の教え方についてお伝えしていきますね！

へ音記号の低い「ドレミファソ」の教え方

へ音記号の低い「ドレミファソ」を覚えてもらう方法です。

必要な道具

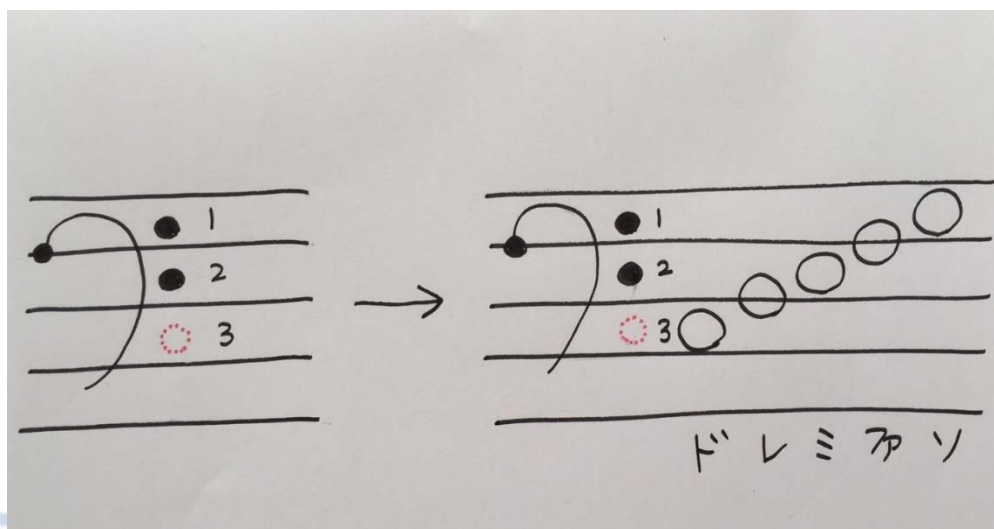


・手作りの音符カード

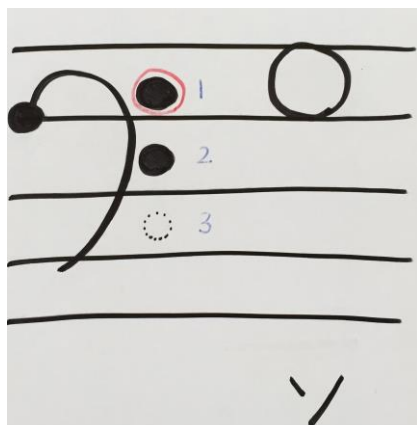
へ音記号の覚えがよくない子用に作ったものです

実際の進め方

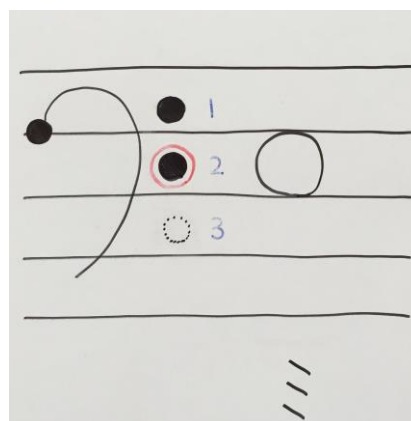
まずは下の図にあるように、へ音記号の黒い点に注目してもらいます。



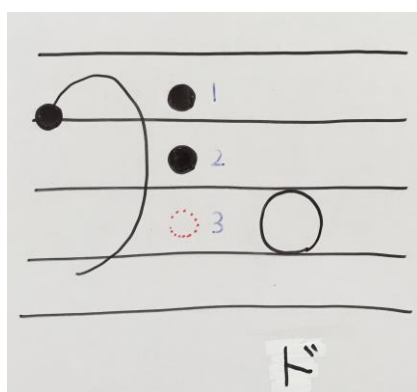
で、1つ目にあるのが「ソ」で、



2つ目にあるのが「ミ」です。



そして3つ目にあるのが「ド」と覚えてもらいましょう。



こうやって黒い点にフォーカスしてもらうことで、無理なく覚えられると思います。

これで、へ音記号の低い「ドレミファソ」の教え方は終わりです。

■ 「5才のリズムとソルフェージュ」について

7カ月目以降も引き続き、各3つずつ宿題に出してあげてください。

どっちも同じ量だけ宿題を出しますが、おそらくリズムの方が簡単で問題数も少ないので先に終わると思いますが、残りのソルフェージュだけを宿題に出していきましょう。

ソルフェージュをやっている子どもたちからは「音楽の授業で歌がきれいに歌えているってほめられた！」とか「音符が読めるようになってきてリコーダーが楽しい。音符が分からない人に教えてあげている」と言ってくれるので、効果があるなあ実感しています(^-^)

リズム打ちをするときは、

- ① リズム唱（ター ティティ ターアンを言いながらたたく）
- ② 拍数（4/4拍子なら、1、2、3、4を言いながらたたく）

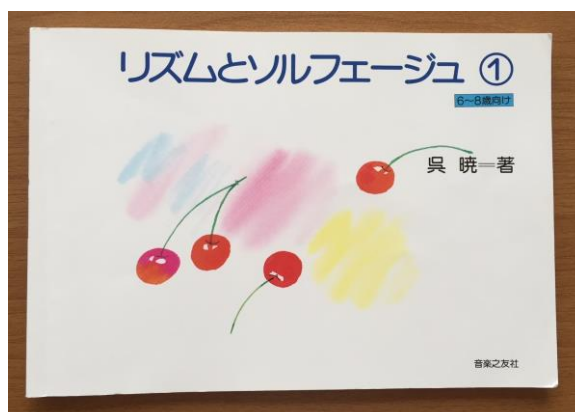
ソルフェージュをするときは、

- ① 1回目は先生と一緒に歌う
- ② 2回目は1人で歌う

で進めていってください。

「5才のリズムとソルフェージュ」が終わったら、
順番に「リズムとソルフェージュ①」
に進んで下さいね。

「リズムとソルフェージュ①」 →→



■おわりに

これで、第7章(終)「レッスン7カ月目～1年の内容」は終わりです。

レッスンは半年を過ぎてくると、1回のレッスンで合格ができなくなってきます。そのために1回でマルがもらえなくなったことへの苛立ちを覚える子が出てきます。

「1回で合格できなかった・・・」と落ち込む生徒もいれば、
「え～、合格じゃないの!? マルしてお願い!」と頼み込む生徒もいるんですよ(;^ω^)

私の場合ですが、

落ち込む生徒の場合は、「これからは1回だけでは合格できないかもしれないけれど、でもそれだけ難しい曲が弾けるようになったってことだね。上達している証拠だね」などと言って励まします。

頼み込む生徒の場合は、「先生もほんとは合格させてあげたいよ。だけど弾けてないよね? おまけで合格もらってたら、だんだん難しい曲が弾けなくなってくるよ? きちんと仕上げよう!」なんて言っています。

とは言いつつも、ピアノを教え始めたころは情に流されて何度もおまけのマルをした記憶が・・・(笑)。

これでスカラーの教材は以上です。

この教材をたたき台にして、自分なりのレッスンを作ってくださいね☆彡

最後までお読みくださってありがとうございました!

■規約

このレポートの利用に際しては、以下の条件を遵守してください。

このレポートに含まれる一切の内容に関する著作権は、レポート作成者に帰属し、日本の著作権法や国際条約などで保護されています。

著作権法上、認められた場合を除き、著作権者の許可なく、このレポートの全部又は一部を、複製、転載、販売、その他の二次利用行為を行うことを禁じます。

これに違反する行為を行った場合には、関係法令に基づき、民事、刑事を問わず法的責任を負うことがあります。

レポート作成者は、このレポートの内容の正確性、安全性、有用性等について、一切の保証を与えるものではありません。また、このレポートに含まれる情報及び内容の利用によって、直接・間接的に生じた損害について一切の責任を負わないものとします。

このレポートの使用に当たっては、以上にご同意いただいた上、ご自身の責任のもとご活用いただきますようお願いいたします。

◆作成者 スカラー

◆特定商取引法に基づく表記 <http://loopline.shop-pro.jp/?mode=sk>